



神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生

校訓 自主・自律

令和2年 3月 6日

3月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

「あの日をわすれない」

校長 山内 清一

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、杉並区でも3月2日（月）から春期休業日開始日の前日まで学校は臨時休業となりました。生徒の皆さんにはとまどいもあるかと思いますが、学校からの連絡、指示に従って冷静に対処してほしいと願っています。特に、3年生の気持ちを考えると、言葉になりません。卒業式は、縮小して行われますが、堂々と誇りをもって卒業式に臨んでほしいと思います。

さて、東日本大震災が発生して9年になります。3月11日あの時間、私はふるさと青森に帰らなければならない用事があり、新幹線に乗っていました。仙台駅を発車して間もなく、トンネルを通過しているときに地震が発生し、トンネルの中で真っ暗な新幹線に閉じ込められました。余震があり、家族との連絡も取れず生きた心地がしませんでした。12時間後に約1時間線路上を歩いて救助の車まで行き、避難所に避難することができました。忘れることのできない、忘れてはならない日です。

あの日を忘れないために、東京都教育委員会が作成した「3.11を忘れない」という防災教育補助教材に掲載された作文を紹介します。

「3月11日、私達の町を大きな地震と津波がおそいました。

当時のことは、わりと覚えています。気にもしなかった小さな揺れは、大きな音と共に激しいものになりました。寝ていた私はとび起き、急いで階段を降りました。1階にはおじいちゃんとおばあちゃんがいて、3人で静かに揺れがおさまるのを待ちました。揺れている間、電気は左右に激しく動き、食器は棚から落ち、そのほとんどが割れて、まるで映画のようでした。私の家は海に近いので、おじいちゃんは窓から海の様子をずっと気にしていました。海水が引いていくのを見たおじいちゃんは、私たちに避難するように指示しました。私は、余震が続く中、2階へ戻り、携帯の充電機、上地雄輔さんの仙台公演に行くために貯めていたお金、思いついた大切な物を持っておばあちゃんの車で逃げました。

津波がきた時、私は中学校にいました。窓からは、木、車、人、関上（ゆりあげ）という場所が津波にのみこまれている様子が見えました。

私は、この地震と津波で、大切な友達を失いました。あまり話したことのない友達、一緒に映画を見に行く約束をしていた友達、保育園から一緒に、本当に大好きだった友達、初めは信じるのができなくて、涙もでませんでした。

でも今、私達を全力で支えてくれている世界のたくさんの人達がいます。避難所で、イライラすることもあるけれど、世界中の人達が応援してくれていると考えたら、頑張れます。だから、もう少し私達を応援して下さい。世界中の人達のおかげで、私達は生きていくことができます。災害にあって、本当に人の優しさがわかりました。これからも、世界中の人に感謝して、いつか恩返しができることを信じながら、元気に生きていきたいと思います。」

（宮城県名取市関上中学校 小齋可菜子）

東日本大震災では、東京も被害を受けました。学校では、震度5弱以上では下校させないことを確認し、災害時の「引き取り訓練」や「予告なしの避難訓練」、「震災救援所訓練」など、災害に備える意識を高めるための取り組みを重ねています。時が経つと人々は記憶が薄れていきますが、私たちは、人任せにすることなく、一人一人が危機意識をもち、日頃から、自分以外の人の気持ちを大切にしながら生きることを忘れてはならないのだと思います。生徒の皆さんには、あの日を忘れずに、まず自分の命を守り、次に身近な人を助け、さらに地域に貢献できる人になってもらいたいと思います。

【1年を振り返って】

入学式



離任式



1年生フレンドシップスクール



体育大会



1年生普通救命講習



2年生職場体験



3年生修学旅行



ICT公開授業



道徳授業地区公開講座



神明祭



文化発表会



オリパラ教育



【4月の予定】

6日(月)	始業式	21日(火)	生徒総会
7日(火)	入学式	23日(木)	歯科検診(全)
10日(金)	全校保護者会	24日(金)	離任式
11日(土)	新入生歓迎会	28日(火)	身体測定(全)
16日(木)	全国学力調査(3)	30日(木)	内科検診(2)

☆4月の予定に変更がある場合は、お知らせいたします。